

令和 7年度	学校の教育目標	グローバルリーダー（Thinkglobally, act locally）の育成 ～未来に向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに関わり、自己を磨き高め合う子どもの育成～
-----------	---------	---

年度初め

計画（5月1日）										期末評価（ 月 日）			
資質・能力	学校の教育目標 実現に向けた 【重点目標】	重点目標に係る目指すべき 子どもの姿となる 【達成指標】	達成指標 達成率	最終 評価	前 年度	達成指標を達成する または近づくための 【重点的取組】		重点的取組に係る 具体的な 【取組指標】	担 当 者	取組指標の 達成基準 （S・A・B）	期 末 評価	取組指標の 達成状況詳細	期末に向けた総括 （○成果 ▲課題 ☆方向性）
知識・技能	生きて働く知識・技能の習得	(1) 前期「全国学力調査」、後期「C R T検査」の知識・技能の正答率が全国平均以上 S：達成率120%以上 A：達成率100%～119% B：達成率100%未満 (2) 「新体力テスト」の合計得点が全国平均以上 S：達成率110%以上 A：達成率100%～109% B：達成率100%未満	〔全国学力調査〕6年生 【国語】全国（正答率） % 本校（正答率） % 達成率 $\frac{\quad}{\quad}$ = % 【算数】全国（正答率） % 本校（正答率） % 達成率 $\frac{\quad}{\quad}$ = % 〔C R T検査〕5年生 【国語】全国比（達成率） % 【算数】全国比（達成率） % 〔新体力テスト合計点〕5年 全国：男 女 本校：男 女 男子達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = % 女子達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = %		S	学校	①授業改善	授業者は、新大分スタンダードの視点に基づいた評価表を使用した指導教諭による授業観察と教科グループ内での学び合いによる授業観察を行い、事後に指導教諭等と振り返りを行う。	指導教諭	S：55回以上 A：37～54回 B：36回以下			
				S	②体力向上		各学年は、「新体力テスト」で前年度課題のあった種目の改善に向けて、単元を開発する（既開発単元利用も含む）。	担任	S：7単元以上 A：6単元 B：5単元以下				
					家庭	③自力通学	保護者は、児童の自力通学に対して励まし応援する。※「毎日」「時々」「全然」の内、「毎日」の割合	主幹教諭	S：90%以上 A：70～89% B：69%以下				
						A A	地域	④指導助言	教育委員会等関係者・大学教員は、各教科の授業・研究に対して指導助言を行う。	指導教諭	S：50人以上 A：28～49人 B：28人未満		
思考・判断・表現	未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力	(3) 前期「全国学力調査」、後期「C R T検査」における思考力・判断力・表現力等の記述問題得点率が全国平均以上 S：達成率120%以上 A：達成率100%～119% B：達成率100%未満	〔全校学力調査〕4月実施（6年生） 【国語】全国（正答率） % 本校（正答率） % 達成率 $\frac{\quad}{\quad}$ = % 昨年度達成率 = % 【算数】全国（正答率） % 本校（正答率） % 達成率 $\frac{\quad}{\quad}$ = % 昨年度達成率 = % 〔C R T検査〕11月実施（5年生） 【国語】全国比（達成率） % 【算数】全国比（達成率） %		S	学校	⑤思考育成	担任は、AARサイクルをもとにした自己調整学習に努める。※学習アンケートでの肯定的児童の割合	指導教諭	S：50%以上 A：21～49% B：20%以下			
				S	家庭	⑥一般教養	保護者は、世の中や学校のことにについて、子どもの考えを聞く。※「よく」「時々」「全然」の内、「よく」の割合	主幹教諭	S：90%以上 A：70～89% B：69%以下				
					地域	⑦外部連携	行政・大学教員・地域の方は、外部講師として各教科の授業を支援する。※学級毎でカウント	指導教諭	S：延べ55回以上 A：延べ36～54回 B：延べ35回以下 ※学級毎でカウント				
学びに向かう力・人間性等	グローバルに貢献できる視点を持つ人間性の涵養	(4) 「笑顔アンケート」において、自己他者肯定群の児童の割合が80%以上 S：達成率110%以上 A：達成率90%～109% B：達成率90%未満	〔自己他者肯定群〕 6月割合： $\frac{\quad}{\quad}$ 人 = % 達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = % 11月割合： $\frac{\quad}{\quad}$ 人 = % 達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = % 年間割合： $\frac{\quad}{\quad}$ = % 達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = % 〔学年内訳〕矢印は6月との比較 学年： 6月・11月 1年： % % ↑ 2年： % % ↑ 3年： % % ↑ 4年： % % ↓ 5年： % % ↓ 6年： % % ↓		A	学校	⑧生活指導	各学年は、3つの取組「あいさつ・掃除・履物揃え」について児童の意見を取り入れた手立てを講じる。	学年主任	S：手立て30以上 A：手立て10～29 B：手立て0～9			
			⑨学級経営	学級担任は、朝の時間に「褒め言葉のシャワー」と「フリートーク」を行う。※アセスアンケート90%以上達成を目指す（3年生以上で実施）。			指導教諭	S：90% A：80%～89% B：79%以下					
				家庭		⑩率先挨拶	保護者は、家庭内外で率先して挨拶を行う。※「毎日」「時々」「全然」の内、「毎日」の割合	主幹教諭	S：90%以上 A：80%～89% B：79%以下				
				地域		⑪学校公開	保護者、大学関係者、受検希望者は、オープンスクールなど学校公開の機会に学校を参観する。	教務主任	S：700人以上 A：400～699人 B：399人以下				
働き方改革の推進	働き方改革の推進	(5) 年間有給取得12日以上の職員（年間20日有給付与教職員対象）70%以上 S：達成率110%以上 A：達成率80%～109% B：達成率80%未満 (6) 超勤時間月平均25時間以内の職員70%以上 S：達成率110%以上 A：達成率80%～109% B：達成率80%未満	〔12日以上取得〕 9月末時点： $\frac{\quad}{\quad}$ 人 = % 達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = % 1月末時点： $\frac{\quad}{\quad}$ 人 = % 達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = % 〔25時間以内達成〕 9月末時点： $\frac{\quad}{\quad}$ 人 = % 達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = % 1月末時点： $\frac{\quad}{\quad}$ 人 = % 達成率： $\frac{\quad}{\quad}$ = %		A	学校	⑫意識改革	三部会の部長は部会、統括学年主任は学年主任会を、設定した時間内に運営できるようにマネジメントを行う。※設定時間内の達成率	統括学年主任	S：80%以上 A：60%～80%未満 B：60%未満			
			家庭	⑬登校指導		保護者は、P T A活動の一貫として登校指導を行う。※「実施済」「未実施」の内、「実施済」の割合	主幹教諭	S：90%以上 A：80%～90% B：80%未満					
			地域	⑭外部意見		学校評議員は、年間3回開催の学校評議員会で働き方改革について意見を述べる。	主幹教諭	S：3回意見 A：2回意見 B：1回以下					